



🔔 17年度後期 スタート!

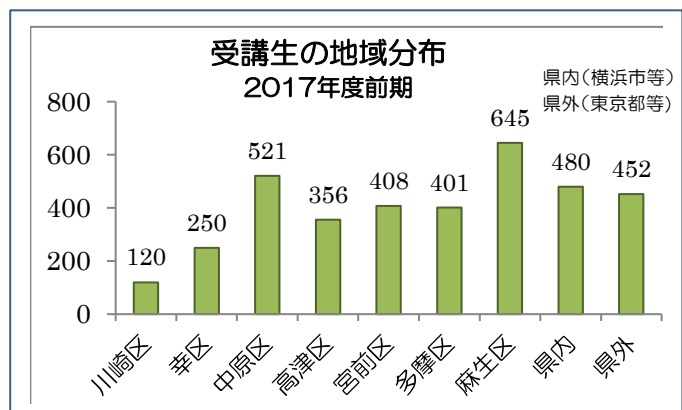
今期は、延べ3,414名(9月16日現在)の方々に受講をいただいております。新しく導入した講座、皆さまの口コミ宣伝により対前年同期比106.2%UPとなりました。17年度前・後期合わせた受講生数は延べ7,047名となり、7,000名の大台を突破しました。

地域の大学との連携による昭和音楽大学とのオペラ講座開講では、新たな領域への挑戦にもかかわらず120名のご応募をいただきました。また、「映像・メディア」も人気講座となりました。さらに、短期集中講座では現在活躍中の映画監督による講座が注目を集めています。

市民の皆さまへの学習の場の提供を使命としているアカデミーです。これからでも申込みができる講座もあります。詳しくは、アカデミー事務局までお問い合わせください。

(電話 044-733-5590)

右のグラフは受講されている皆さまの地域分布です。受講される皆さまの利便性を考え、教室の地域拡大に努めてまいります。



みんなで自費出版しましょう !!

NPO 法人かわさき市民アカデミーは、来年開学 25 周年を迎えます。そこで、受講生の皆さまと一緒に『学びの園で』(仮題)を出版することを企画いたしました。

皆さまから、①原稿を募り、②いただいた掲載料を基に、③製本し、④一般の書店でも販売します。皆さまのご賛同をいただき記念となる自費出版を実現させたいと思います。

募集いたします原稿のテーマは、アカデミーでの学習や活動を通じて、

①「感動したこと」、②「得られた喜び」、③「思い出」

のなかから一つお決めいただきお書き下さい。



〇お申込み・原稿のご提出方法

- ・字数 800~1600字まで ・掲載料 1万円 ・発行予定 2018年2月
- ・パソコンで作成の場合：メールで送信
- ・手書き原稿の場合：郵送または事務局へお持ちください
- ・原稿お申込み締切：2017年10月末日 ・原稿提出期限：2017年11月末日

〇詳細は、かわさき市民アカデミー事務局 電話 044-733-5590 までお問い合わせ下さい。

★8月度理事会の報告 ー8月30日(水) 15:30~18:00 開催ー

報告事項：18件 審議事項：3件

▼主な報告

- ・17年度後期受講申込状況について
- ・17年度上期会計見通しについて
- ・受講説明会の総括について
- ・安全委員会の報告について
- ・フェスタ実行委員会の報告について
- ・「新しい出版」委員会の報告について

▼9月末からの後期講座の開講を前に、受講申込みの状況と分析、受講説明会の反省点、11月開催のフェスタの進捗状況などについて報告がありました。

▼審議事項では、市民自主運営によって成り立っているかわさき市民アカデミーの生涯学習事業が、より円滑に進むためのしくみづくりについて議論を重ねました。

▼審議事項

- ・会議費・交際費規程の一部改定について
- ・野外学習サポーター制度の改定について
- ・受講生の自主学習グループによる地域貢献活動立ち上げを支援する事業について



さあ、行こう！フェスタ'17へ

開催日 11月11日(土)・12日(日)



★フェスタ講演会は あのバンダナ の先生！

今年は東京理科大学数学体験館館長 秋山 仁先生 をお迎えします。テーマは「発想の泉を掘り起こそう」で、発想力は日常生活での意識の持ち方を変えるだけで鍛えられるというお話です。体験型の講演会を楽しんでいただきます。

★子どもが輝く企画が充実！

「ワクワクおもしろ大実験」、「省エネ体験」、「スポーツチャンバラ」はどれも子どもにとって魅力的な企画。さらに今年はトーンチャイム演奏が、フェスタ De コンサートデビュー！ 住吉小学校の子どもたちと一緒に演奏します。

★講座・WSの企画も増えました！

毎年充実した内容の「環境とみどり」の活動成果、「政治・社会」WSの公開グループ討論と展示、芸術WS受講生の油彩・水彩画に加え、人間学受講生企画の映画上映と講演会が参加します。また、多くの講座・WSの授業風景を写真で紹介します。

★地域の団体・グループ等の協力に感謝！

中原区文化協会は多様な文化活動の発表やワークショップを繰り広げます。また、社会福祉法人しいの実会とNPO法人たかつ de ほっとは手作りクッキー等の販売、J A セレサの地場野菜や花卉、社会福祉法人はぐるまの会の野菜販売等があります。

★その他、沢山の企画を用意しています。

詳細は、プログラムをご覧ください。



📍話題の講座・WSのご紹介

講座8 「新しい科学の世界」—最新の科学全般を分かりやすく—

世話人代表 原 宏

科学の発展により宇宙・地球・生命など広い分野で理解が大きく進んでいます。また、衛星技術、ネットや人工知能などの技術が私達の将来を大きく変えようとしています。これらの新しい科学（生命科学以外）分野を分かりやすく紹介する講座です。

これまで実施した講座では、地震予知について、予知できるという講師とできないという講師の講座、温暖化については、あえて地球は寒冷化していると主張する講師の講座があり、幅広い意見が聞けました。

前期は、重力波の難しい内容やオゾンホールの話など、若い第一線の研究者の講座があり、技術内容だけでなく、研究に携わっている研究者の熱意や夢を実感できた講座でした。

後期は、宇宙科学と宇宙開発を中心とする講座が組み立てられており楽しみです。見学会も本講座の魅力の一つです。



NHK解説委員 室山哲也先生

講座 16 「学び・歩くかわさき」（川崎学）

世話人代表 菅沼 俱万

アカデミーの特徴の一つに「川崎学」があります。自然（Ⅰ、Ⅱ）・歴史・まち歩き（講座：「学び・歩くかわさき」、WS）の3分野により川崎を多面的に学んでいます。

「学び・歩くかわさき」は、学んだ地域や地形などを実際に歩き・見聞し、理解を深める学習内容になっています。以前は川崎市内を中心とした学習でしたが、現在は、川崎に関連する



キーワード（歴史・街道・工業・人など）を基にして、近隣地域をも含め学習し、別の視点から川崎を学ぶ事も取り入れています。学習形態は、座学で事前学習し、次の回に関係する地域を訪れ学ぶ方式となっています。この為、学期の半分以上が野外を歩くケースが多く、歩く距離も長くなることもあります。

後期も、新たな学習分野も含めた内容で、安全第一を基本として開講されます。

📍代表世話人のご紹介

講座5 国際関係「代表世話人をつとめて」

世話人代表 左中 功夫

私は2003年にアカデミーを受講し今年で15年目になります。当時私は友の会のクラス委員でした。2007年のNPO法人発足のとき、代表世話人に横滑りして今日に至ります。

国際関係コースは世界の国々がテーマなのですが、「中国」であれば今までに4回実施、「近現代史」「大清帝国」「中国外交史」「習近平の専制」、その都度見る角度が変わります。「アメリカ」「EU」「中東イスラム」等も3回ずつ。一方、「インド」「アフリカ」「ラテンアメリカ」等や「核兵器」「生命倫理」「人権」等一般に取上げにくいテーマもあります。

講座とワークショップ（輪読形式）は同じ講師に続けてお願いしていて一層充実したものになっていると思います。

これらのコーディネイトはすべて成蹊大学の遠藤誠治先生によるもので感謝しています。



📍 かわさき市民アカデミーの変遷—シリーズその1—

かわさき市民アカデミーが開学して、来年で25周年を迎えます。この「かわら版」で、これから6回にわたり、アカデミーの歩みを振り返ってみようと思います。

第1回目は開学の頃の出来事です。

かわさき市民アカデミーの開学と拡大(1993~2003)

アカデミーの沿革史によると、かわさき市民アカデミーが設立され、入学式を行ったのは1993年9月、講座が開講されたのは10月のことでした。「川崎市にも市立大学を」という構想が出てから20年余りの時を経て、川崎市に本格的な生涯学習機関が誕生したのです。

このかわさき市民アカデミー誕生を後押ししたのが、1980年頃から始まった国や自治体による生涯学習推進のための施策です。国は、教育改革の一環として「各人の自発的な意思で、生涯を通じて行う学習」の必要性を強調し、その実現のために「教育機関の整備」を行おうとしたのです。文部省に「生涯学習局」がつくられたのもこの頃でした。川崎市でもそれを受けて、「生涯学習振興事業団」と「生涯学習プログラム委員会」がつけられました。その中で、「中高年のための新しい学習機会としての『かわさき市民アカデミー』の創設」が提案されたのです。

かわさき市民アカデミー創設に向け中心的な役割を果たしたのが、政治学者篠原一先生でした。篠原先生の下で、アカデミーの性格・運営組織・学習過程・受講料などを定めた「設置規則」と、運営のための要綱がつけられ、1993年9月13日かわさき市民アカデミーが正式にスタートすることになったのです。この時、篠原先生によって示された「ひとりひとりの精神を豊かにし、ゆとりある人間らしい市民社会をつくり出す」というアカデミーが目指す方向や、設立時のスローガン「校舎のない大学」が象徴する、「大学に劣らない、質の高い学習内容を多くの市民に提供する」という精神は、今も大切に受け継がれています。

1993年に550人でスタートした受講生は、その後1995年に2,000名を超え、1998年には3,000名、2000年には4,000名と順調に数を増やし、2002年には5,000名を超えました。10年間で約10倍に増えたのです。これは自然に増えたわけではなく、運営のためのたゆまぬ努力によるものでした。常に「市民の声をアンケート等で汲み上げ、それに基づいて講座のテーマ・内容を決め、その分野を研究する第一人者を講師に招く」ことを続けた成果です。それは、篠原先生をはじめ運営委員・カリキュラム委員の諸先生が、それぞれの人脈を活かし、優秀な研究者を招聘することに尽力された結果でもあります。



1995年 第1回修了式(篠原学長代行)
修了生総数 49名

編集後記

◆今月から始まった連載記事は、アカデミーのスタート時から参加されている方には、ご自身の歩みと重なる記憶であり、今期初めて受講された方には、アカデミーの歩みを知る新しい情報となります。

この情報が、歴史の一コマとしてそれぞれの記憶の片隅にしまい込まれるのではなく、アカデミーの新たな歴史をつくるために有益な情報として共有され、役立ててもらえることを願っています。

どうぞ、ご愛読ください。 編集委員

認定NPO法人

かわさき市民アカデミー

発行人 広報部会

編集人 かわら版編集委員会

川崎市中原区今井南町 28-41

川崎市生涯学習プラザ 3F

電話:044-733-5590

FAX: 044-722-5761

問合せメールアドレス:

info@npoacademy.jp

ホームページ:

<http://npoacademy.jp/>